

子育て応援!!



ちびはるルーム

0歳児専用のスペースです。親子でゆつたりと過ごせます。
とき 2月2日(木)・8日(水)
22日(水)午前10時～午後2時
※出入り自由

はるつこルーム

親子連れ優先のスペースです。
親子で遊びを楽しみましょう。

なかよし広場

- お雛様を作つて飾りましょう
とき 2月9日(木)午前11時
読み語りサークル「たんぽぽ」
のお話会を楽しみましょひ

詩
譜

対象 就園前の子どもとその保護者
持ち物 9日は子ども用のはさみ、クレパスまたはサインペン、のり、セロハンテープ、新聞紙1枚
※両手とも当日受付
※駐車スペースには限りがありますので、ご協力をお願いします。

子育てほつとサポート

内容 読み聞か

読み聞かせ、手遊び、お詫正

子育てほつとサポート

対象 就園前の子どもとの保 護者

※次の登録説明会に参加が必要

子育てほつとサポート

対象就園前

※次の登録説明会に参加が必要

育児の手伝いを頼めます
ファミリー・サポート・

は、育児を手伝つてしまひ方と育児を手伝つたいたい方が地域で子育てを助け合つたための組織です。事務局が、会員間の子どもの一時預かりや送迎などの臨時的な有償支援をする橋渡しを行つます。地域の方に子育てのお手伝いを頼んでみませんか。

こどもの育ち何でも相談

★雛飾りを作ろう

生田銀、ねじねじの 今月のテーマ 紫

絵本を作ろう

※申込不要・時間内出入り自由

※子育てほつとサロンは、子育て支援団体「エンジエルハウス」がボランティアで企画・運営しています。

問合せ先 役場子育て支援課
内線167

持ち物 新しい絵の具の筆
講師 寺師 孝子 氏

受付開始 2月10日(金)午前
10時

ここまでのお問い合わせ先
児童センター
(総合福祉センター3階)
☎(441)1781

登録説明会

日(水)午前10時～11時45分
①あま市美和公民館
②あま市七宝公民館

定員 各30名
申込方法 学児まで、要予約、定員あり

※無料託児あり(4ヶ月から未就

開催日の3日前(託児の申し込みは1週間前)までに電話またはメールでお申し

込みください。

※件名に「フトリーカー・サポーター申込み」、本文に「説明会、氏名、電話番号、受講日、託児の有無(有の場合は名前、月年齢)」記入

問い合わせ先 あま市・大治町広域事務局(あま市役所甚田寺庁舎内) ☎ (462) 01-50
MAIL ama-harufamisapo@clovernet.ne.jp

子育て家庭を応援するお店
「はぐみん協賛店舗」等募集

町では、地域社会全体で子育てを応援するため、県と協働して「子育て家庭優待事業」を実

施します。

「」の事業は、18歳未満のお子さんおよびその保護者や妊婦を対象に「はぐみんカード」を配布し、「」の方方が協賛店舗等でカードを提示すると、各店舗等が自由に設定したもまやまな特典を受けられるところのものです。

この事業に協賛し、子育て家庭を応援していただける店舗の応募をお待ちしています。

申込方法 町ホームページから申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、「子育て支援課まで」提出ください。郵送、ファクスまたはメールでもお申し込みいただけます。

詳しく述べて、町ホームページを覗ください。

問い合わせ先 役場子育て支援課

内線167

2月の公民館ロビー展示
つるし飾り展
1日(水)～3月3日(金)
●文化協会

※日程は都合により変更する場合がありますのでご了承ください。

歯の健康講座

海部歯科医師会

「歯ぎしり」とは、「」と呼ばれます。

歯ぎしりやくしゃばりは、別名「ブリキシズム(口腔内悪習癖)」と呼ばれています。

ブリキシズムは歯が削れたり、ひびが入ったり、歯の周囲の骨を吸収させて歯根を露出させたりします。また、歯周病を悪化させるリスク因子でもあります。ブリキシズムにより、かみ合わせの位置が低くなると顎関節症や、呼吸に必要な気道が狭くなつて睡眠時無呼吸症候群の原因にもなります。

歯が染みて痛む「知覚過敏」も、ブリキシズムが原因となつている場合があります。歯ぎしり、くいしばりは、多くの人に見られる癖で、自分ではなかなか気付きにくいものです。放置すると、やがて大きな障害に発展する場合もあります。睡眠時晩の歯ぎしりは、一生分のそしゃくに匹敵するくらい、歯や顎にダメージを与えることもあると言われており、危険なものなのです。

口腔の状態をよく観察して、歯の削れや割れ、歯茎の骨の口づのよつた隆起、歯と歯肉の境目がくさび状に欠ける、歯が染みる、かむと痛い、起床時に顎が疲れた感じがするなどの症状があれば、早めに歯科を受診してください。歯の痛みの原因は、虫歯だけではありません。

歯科において、歯と顎を守るために「歯ぎしり防止装置」というマウスピースを作成したり、顎の筋肉が緊張していたりする場合は、必要な処置をする場合もあります。

田じうの心掛けとして大切なことは、「口は閉じる」「歯はかまない(安静時の空隙を保つ)」そして「鼻で呼吸する」の3点です。